

「ミルクさんまい」

1 趣 旨

- ・地域資源を活かした体験活動の場を提供し、三瓶地域の魅力に気付く機会とする。
- ・「生産→消費」のストーリーを取り入れた活動を通して、より充実した体験活動の促進を図る。
- ・家族に体験活動プログラムを提供し、協力して取り組んでもらうことで、家族の絆を深める契機とする。

2 事業の概要

- (1) 期 日 ①令和3年 6月 5日(土)～6月 6日(日)【1泊2日】
 ②令和3年11月 6日(土)～11月 7日(日)【1泊2日】※期間変更
 ③令和4年 2月19日(土)～2月20日(日)【1泊2日】※中止
- (2) 会 場 国立三瓶青少年交流の家、福間牧場
- (3) 協 力 ①②福間牧場
 ③ 福間牧場、チチヤス株式会社
- (4) 対 象 小学生1～4年生とその家族
- (5) 参加者 ①35名(8家族) ※募集8家族程度、応募213名(62家族)
 ②34名(10家族) ※募集8家族程度、応募196名(60家族)
 ③中止 ※募集8家族程度、応募 57名(14家族)

(6) 日程・内容

○ミルクさんまい①

10:00	10:30	11:30	12:30	～	17:00	18:15	～	20:00	22:30	6:30	7:00	7:30	8:40	9:00	～	13:30	14:30
1日目(土)	受付	はじまりの会	昼食	【牧場体験】福間牧場へ! いつも飲んでいる牛乳はどうやって作られているのだろうか? 酪農家・福間さんに教えてもらおう!	夕食	【選択活動】 ①夜の牧場体験 ②天体観測 ③自由活動	休息・就寝	2日目(日)	起床	清掃	朝食	退所点検	【野外炊飯】三瓶で採れた牛乳で... お昼ご飯をつくろう!	おわりの会			

○ミルクさんまい②

10:00	10:30	11:30	12:30	～	17:00	18:15	～	20:00	22:30	6:30	7:00	7:30	8:40	9:00	～	13:30	14:30
1日目(土)	受付	はじまりの会	昼食	【野外炊飯】三瓶で採れた牛乳で... お昼ご飯をつくろう!	夕食	【選択活動】 ①夜の牧場体験 ②天体観測 ③自由活動	休息・就寝	2日目(日)	起床	清掃	朝食	退所点検	【牧場体験】福間牧場へ! いつも飲んでいる牛乳はどうやって作られているのだろうか? 酪農家・福間さんに教えてもらおう!	おわりの会			

※②は、1日目【牧場体験】と2日目【野外炊飯】の日程を入れ替えて実施した。

○ミルクさんまい③

10:00	10:30	11:30	12:30	～	17:00	18:15	～	20:00	22:30	6:30	7:00	7:30	8:40	9:00	～	13:30	14:30
1日目(土)	受付	はじまりの会	昼食	【牧場体験】福間牧場へ! いつも飲んでいる牛乳はどうやって作られているのだろうか? 酪農家・福間さんに教えてもらおう!	夕食	【選択活動】 ①夜の牧場体験 ②天体観測 ③自由活動	休息・就寝	2日目(日)	起床	清掃	朝食	退所点検	【野外炊飯】三瓶で採れた牛乳で... デザートをつくろう!	おわりの会			

※③では、1日目の【牧場体験】において、追加で「チチヤス株式会社の方からのお話」「ヨーグルトづくり」を実施する予定であった。

3 事業の特色

(1) プログラムデザインと企画のポイント

本事業は、4年目を迎えた。『牧場体験やアウトドアクッキングに「生産→消費」のストーリーを取り入れ、三瓶地域の資源を活かしたプログラムにすることで、参加者は、単なる「体験」ではなく、より充実した活動を行うことができる』ことを開催当初から目指して企画している。また、本年度は、牛乳を処理加工販売しているチチヤス株式会社の協力もいただき、「生産→消費」のストーリーに、より厚みを持たせた。

①②は、夏・秋開催ということもあり、「野外炊飯」では、普段なかなか体験することができないダッチオーブンをを使ったシチューとパン作りに挑戦できるようにした。

③は、冬の開催で「野外炊飯」ができないため、牛乳を使ったデザート作りに挑戦できるようにした。①②とは違い、アイスクリーム、バター、ヨーグルト、燻製チーズづくりなどを、「家でも作れる」をコンセプトに企画した。

(2) 運営のポイント

「牧場体験」では、観光牧場とは一線を画し、至近距離で牛に触れあうこと、牧場主の人柄に触れ、実際の仕事内容、やりがいや苦勞を聞く機会を設け、参加者がより充実した活動ができるように心掛けた。

「野外炊飯」では、野外炊飯を初めて行う参加者が多いため、事前の説明の時間を多く取り、活動へスムーズに入ることができる環境づくりに努めた。また、作業工程について、子供たちが見てもわかるような教材を作成し、自主的な活動を促すようにした。

(3) 広報のポイント

主にチラシ、Facebook を活用し、広報を行った。本事業は全3回開催であり、第1回目の開催に合わせ、チラシを4月中旬に配布した。第2回目以降の参加者の獲得が懸念されたため、「イベントカレンダー」(図1)を活用した広報やFacebook を活用した広報(図2)を持続的に行い、参加者の獲得につなげた。



図1：イベントカレンダー

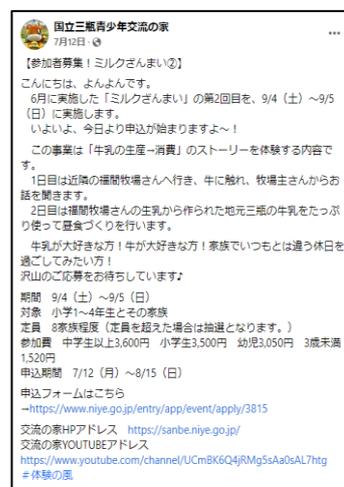


図2：Facebook を活用した広報

4 参加者へのアンケート結果

(1) アンケートの集計 (%)

○①令和3年 6月 5日(土)～ 6日(日)

	満足	やや満足	やや不満	不満
事業全体	100	0	0	0
プログラム	100	0	0	0
運営	100	0	0	0
職員の対応	100	0	0	0

○②令和3年11月 6日(土)～ 7日(日)

	満足	やや満足	やや不満	不満
事業全体	89	11	0	0
プログラム	89	11	0	0
運営	100	0	0	0
職員の対応	100	0	0	0

(2) 参加者の声

- ・子供はもちろん、親自身も心から楽しく充実した時間でした。
- ・日常、体験できないことが経験でき、とてもよかったです。
- ・久しぶりに親子で学び、楽しみ、充実した2日間でした。
- ・2日目に予定されていた野外炊飯が1日目に変更されてよかったです。
- ・体験と座学がセットなので、頭に入りやすかった。
- ・連続開催される場合は、是非参加をしたいと思っています。

5 成果と課題

《成果》

- ・ミルクざんまい③は中止となったが、チチヤス株式会社との連携により、「加工」のプログラムにヨーグルト作りが加わったことで、「生産→消費」のストーリーに、より厚みを持たせることができた。

(地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業として、11月27日(土)～28日(日)に同様の事業を行った。その際、「加工」のプログラムとしてチチヤス株式会社の協力を得て、ヨーグルト作りを取り入れた。参加した親子からは好評価をいただいた。)

- ・本事業は、4年目を迎えたが、毎回定員より多くの応募がある。前年度から実施回数を増やしたことで、より多くの方に本事業の魅力を伝えることができた。

《課題》

- ・ミルクざんまい①②では、定員に対して約8倍の応募があった。牧場に一度に入れる人数や野外炊飯で使用する備品の関係上、8家族程度の定員としている。しかし、本年度以上に一人でも多くの方に本事業の魅力を知ってもらうためには、定員を増やしていく必要があると感じた。来年度の開催に向けて、連携先との打合せ、事業内容の見直し、備品等の整備を今一度しっかりと行い、プログラムデザインをしていきたい。
- ・今年度は、参加対象に合った内容を展開しようと考え、対象を「小学生」から「小学生1～4年生」とした。メインプログラムである牧場体験や野外炊飯などの直接体験は、小学校低学年の生活科との結びつきがあり、教育効果があるといえる。一方、牧場体験の中での牧場主の講話では、牧場主の仕事内容、やりがいや苦勞を聞くことができる。これは、小学校5年生の社会科との結びつきがあるため、本事業の内容は、小学生全般が学べる内容構成となっていると考えることもできる。次年度へ向けて、参加対象をはっきりさせ、その年代に適した内容を考えていき、より教育効果のある事業を目指していきたい。



牧場体験



牧場主の講話



アウトドアクッキング

(担当：企画指導専門職付 福田 将大)